

ダイヤモンドから見る 地球内部

東京大学大学院理学系研究科教授
東京大学アイソトープ総合センター センター長

講師 鍵 裕之氏

2019年
6/15 土 開演**15:00**
(開場**14:30**)

会場：東京経済大学 国分寺キャンパス 2号館B301教室(予定)

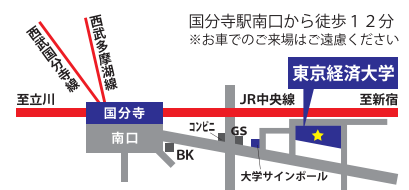
参加費：無料 ※未就学児は入場不可。

申込方法：事前申込制。裏面の申込用紙にご記入の上、FAXまたは郵送でお送りください。
本学ウェブサイトからもお申込みいただけます。
(電話では受け付けておりません)

申込締切：2019年6月11日(火)
※申込順に受け付けいたします。定員に達し次第、申込受付は終了となります。

定員：先着400名
※FAXまたは郵送でお申込みいただいた場合は、入場券を郵送いたします。
※本学ウェブサイトからお申込みいただいた場合は、受付返信メールをもって入場券とさせていただきます。

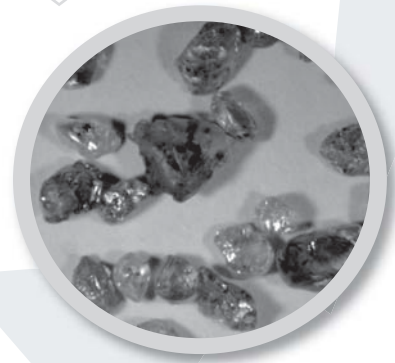
主催：東京経済大学・大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会



【国分寺駅からのアクセス】

◆ 講演概要

地球の半径は約6,400kmで、地表から地殻、マントル、核という層状構造をとっていますが、どのように地球深部の情報が得られたのでしょうか？ 地中に穴を掘って人類が到達できる深さは高々10km程度で、とても地球の中心まで到達することはできません。地球内部は近くて遠い場所なのです。宝石としての価値が高いダイヤモンドは地球内部を研究する上で、とても重要な役割を果たしてきました。ダイヤモンドは最も硬い物質で、化学的にも安定です。したがって天然ダイヤモンドは地球深部の物質を地表に運んできてくれます。また、ダイヤモンドを用いて地球の深部に相当する圧力を再現することもできます。講演では地球内部の最近の研究や物質に圧力をかける実験を紹介いたします。



ダイヤモンドの原石

◆ 講師プロフィール



鍵 裕之

(かぎ・ひろゆき)

東京大学大学院理学系研究科教授

東京大学アイソトープ総合センター センター長

東京大学理学部・同大学院理学系研究科、筑波大学物質工学系助手・講師、東京大学理学部地殻化学実験施設講師・准教授を経て、2010年より現職。1996年～1998年ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校高圧力研究センター客員研究員。博士(理学)。著書(分担執筆)に『地震発生と水』(東京大学出版会)、『マントル・地殻の地球化学』(培風館)など。高等学校での出前授業などの啓発活動多数。中学理科・高校化学の教科書執筆なども行っている。

下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。
本学ウェブサイトからもお申込みいただけます。(※電話では受け付けておりません)

お申込先

東京経済大学 広報課

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

FAX 042-328-7768

WEB <https://www.tku.ac.jp/>

申込締切: 2019年6月11日(火) 必着

鍵 裕之 氏 学術講演会 申込用紙

住所 〒 都 道 市 区
府 県 町 村

フリガナ
氏名

電話番号

参加人数 申込者ご本人を含めて
参加を希望される人数

名 (→ うち学生・生徒・児童) FAX 番号
名

■該当する区分にチェック✓を入れて下さい

大倉記念学芸振興会会員

学生 / 生徒 / 児童

本学卒業生

大学・学校教職員

その他

■以下をご希望の場合はチェック✓を入れて下さい。

★大倉記念学芸振興会の今後の企画イベント案内の送付→

★大倉記念学芸振興会の加入案内の送付→

※ご記入いただいた個人情報、大倉記念学芸振興会に関する連絡、その他大学からのご案内以外には使用いたしません。